

授 業 概 要

(幼稚園教諭専攻科)

授業のタイトル (科目名) 教育原理	授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	授業担当者 伊藤 晶	当該科目における実務経験 高等学校教員
授業の回数 8 回	時間数 (単位数) 16 時間 (2 単位)	幼稚園教諭専攻科 前期	必修・選択 必修
[科目概要・到達目標] ・教育の基本的な概念と基礎理論について概括することを通して、教育の意義と目的、教育の歴史及び思想、わが国の学校教育制度、発達段階に応じた指導原理、家庭教育及び地域教育の意義等について学ぶことを目的とする。 また、本学習を通して、教育及び児童福祉の観点から今日の「子ども」を取り巻く環境の変化を理解した上で「よりよい教育とは何か」を考える力を安なうことが重要である。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1・教育の基本原則(1) 人間形成と教育の本質・教育の可能性と限界・授業の本質 2・教育の基本原則(2) 人間教育の可能性・教育形式の非連続的なこと・実存的人間理解と現代教育の使命 3・西洋の教育の制度と思想の歴史(1) 古代、中世の教育・近代教育の萌芽期・17世紀も教育思想・18世紀の教育思想 4・西洋の教育の制度と思想の歴史(2) 産業革命と教育・19世紀の教育思想・新教育運動 5・日本の教育の制度と思想の歴史(1) 近世の教育・近代教育制度の確立期・公教育制度の整備と教育勅語 6・日本の教育の制度と思想の歴史(2) 大正期の教育運動・戦時下の教育・教育の民主化 7・発達と教育(1) 発達の意味・子どもの発達を支える教育的信頼について・シュタイナーにおける子どもの発達段階の理論 8. 発達と教育(2) 子どもの発達段階に即して親や教師が心掛けるべきこと・幼児教育・保育の目指すもの 9・家庭・地域教育(1) 家庭教育の意義と特色・地域教育の意義と特色 10・家庭・地域教育(2) 家庭、地域社会の課題・これからの家族、地域教育 11・現行の保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の特徴 12・現代教育の課題と教育制度上の変化と特徴			
[使用テキスト] ・「新しい教育原理」(ミネルヴァ書房) [参考文献] ・「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省) ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)			
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・査点(75%) ・到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考査を実施する。 ・平常点(25%) ・授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。			